【会議録】

会　議　名	第３回赤坂・青山子ども共育事業運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和３年２月 12 日（金）午前９時 30 分から午前 11 時 00 分まで
開 催 場 所	赤坂地区総合支所２階大会議室
委　　員	出席者　５名 中島委員長、中島副委員長、白井委員、関委員、髙松委員 欠席者　なし
事　務　局	赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当　山口係長 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進課係　髙梨、谷口、吉田
会 議 次 第	１　開会 ２　第二次審査実施概要について ３　事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 　　Ａ事業者 30 分 ４　第二次審査結果及び事業候補者の選考について ５　その他 ６　閉会
配 付 資 料	資料１　　第二次審査実施概要 資料２　　第二次審査表 資料３　　第二次審査における質問事項（案） 資料４　　第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配付） 資料５　　第２回選考委員会会議録概要 参考資料１　第一次審査集計結果 参考資料２　募集要項 参考資料３　様式集 参考資料４　仕様書・別紙

会議の結果及び主要な発言

（発言者）	
Ａ委員 事務局	１　開会 （開会の挨拶） （事務局から配付資料について確認）
事務局	２　第二次審査実施概要について （事務局から資料１について説明）
	３　事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 （Ａ事業者によるプレゼンテーション） <u>Ａ事業者への質疑応答</u>

Ｂ委員	受付時の検温方法について、また検温等の記録をどう残して支所と共有していくのか説明ください。
Ａ事業者	事前に用意する検温器と合わせて、受付時に健康チェックシートを記載してもらいます。
Ｂ委員	マスクを着用できない参加者にはどう対応しますか。
Ａ事業者	広報段階でマスク着用の案内をしますが、着用できない参加者がいる場合は、事前に他の参加者に告知します。
Ｂ委員	地域で知恵や特技を伝承している住民等との講座を、どう企画・運営しますか。
Ａ事業者	これまでの連携団体や商店街連合会、観光協会と協議します。
Ｃ委員	相撲以外で、地域の特性を活かした伝統文化を体験できる講座はありますか。
Ａ事業者	親子で一緒に作ろうをテーマに、赤坂地区の伝統的な団体等を講師に招き、講座を企画できます。
Ｃ委員	一貫したコンセプトで、何かのテーマを深めていくような連続的な講座の具体的な案はありますか。
Ａ事業者	提案した水育は、実際に自然を体験しに行く学習も可能であり、連続講座として実施できます。
Ｄ委員	中学生や多世代交流を対象とした講座について説明してください。
Ａ事業者	手話や外国語、プログラミングを企画しています。
Ｅ委員	オンライン講座に必要な設備を一式用意することはできますか。
Ａ事業者	これまでオンラインで事業を実施した経験があり、既存の設備で対応可能です。
Ｅ委員	オンラインならではの効果的な講座実施はできますか。
Ａ事業者	オンラインでも対面でも、どちらでも楽しめるテーマを企画しています。
Ａ委員	今後３年間を見据えた事業の基本的な方針や考え方をご説明ください。
Ａ事業者	地域の方々と協議しながら、提案した企画を発展していきます。スポーツ講座は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会をレガシーにして、企画・運営します。
Ａ委員	これまでの事業実績からアピールできる点はありますか。
Ａ事業者	これまで連携してきた区内事業者との関係性を活用できる強みがあります。
Ａ委員	個人情報の管理等は共同事業体内でどう行っていきますか。
Ａ事業者	共同事業体内の責任あるポジションの部署の者が慎重に取り扱います。
Ａ委員	今後事業を運営していく上での、覚悟・意気込みをお願いします。
Ａ事業者	地域の企業・団体の皆様と連携しながら、共同事業体としての強みも生かして事業を運営していければと思っております。弊社にはこれまでも自社の様々な事業や活動を通じて区内事業者と関係性を築いてきたという強みがあり、また代表企業が所有する資源・経験も活かすことができます。それらを効果的に活用して、事業の運営を通して赤坂地区の活性化にぜひ貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。
	４　第二次審査結果及び事業候補者の選考について
	<u>採点結果の報告</u>
Ａ委員	評価点は、選考の目安である６割を超えています。

	（事務局から報告） <u>各委員から講評</u>
Ｂ委員	マスクの不着用についての想定が不足しています。実現性は評価できます。赤坂地区ならではの独自性はもっと模索できると思います。判断を支所に頼りすぎている部分が多いと感じます。魅力度は評価できます。
Ｃ委員	理解度、実現性、独自性・創造性は評価できます。質疑応答への対応姿勢に信頼性に欠ける印象です。周知方法をより確実性のあるものにして欲しいです。
Ｄ委員	理解度、実現性、独自性・創造性は評価できます。感染症対策やリスクマネジメント等求められていることは理解できています。講座内容が小学生向けに偏っていますが、魅力度は評価できます。事業者に対し、事務局から事業展開等をきちんと説明し、求めていく必要があります。
Ｅ委員	商店街等の地域資源を活用した事業展開は評価できますが、マスクの不着用対応など想定不足も見受けられます。実現性は評価できます。講座の提案がこれまで既出の内容が中心となっています。意欲・積極性は評価できます。
Ａ委員	理解度、実現性はこれまでの実績を踏まえ評価できます。地域の特性をもっと活かせるとよりよいと思います。質疑応答への対応姿勢では、事業としての組織体制はあるものの、業務責任者の発言がなかったことについては、実際の運営においての責任、信頼性が欠ける印象です。バリエーションに富む講座が企画されていました。
Ａ委員	講評を聞いたうえで、採点の変更はありますか。 （委員一同、変更なし）
Ａ委員	審査の結果、Ａ事業者を委託事業候補者と決定します。 （委員一同、異議なし）
	５　その他
事務局	（事務局より今後のスケジュールについて説明）
	６　閉会
Ａ委員	（閉会の挨拶）